

2010 年度
活動報告書

特定非営利活動法人



トルシーダ

2010 年度の活動を振り返って

2 年目に入った虹の架け橋事業の日本語教室 CSN と、中級日本語講座に就労支援セミナー。初めて挑んだプレスクール事業。日本語教室 CSN は、2010 年度は進学が大きな課題でしたが、それぞれが希望する学校へ入ることができました。

この成果で終われるはずだったところへ、東日本大震災が起こりました。CSN では、生徒 2 名が原発の事故を恐れ帰国しましたが、その他の子どもたちは特に動揺した様子もなく 3 月の修了を迎えました。東北の皆さんを想い、募金もしました。そんな子どもたちの様子を見てみると、外国人であっても日本人であっても、地域社会の同じ一員だということを改めて感じます。だからこそ、日本語教室は外国人のための特別な支援ではなく、当たり前で勉強できる場所として、身近に存在することが大切なのだと思います。

個々の課題としては、日本語教室の活動を通して、学校や保護者との連携が密になるにつれ、支援団体として何をどこまでどのように関わればいいのか、考えさせられる状況が度々ありました。また、日本語指導から教科指導へ移行する方法や、評価方法についての勉強不足に気付かされました。

就労支援の中級日本語講座では、学習者の皆さんと少しずつネットワークができました。これを学習者の皆さんの新たな可能性の芽にしていければと思います。また、プレスクール事業にも初めて関わり、団体としての可能性と、マンパワー育成について考えなければいけない局面に立っていることを感じた年でした。



代表 伊東浄江

2010 年度活動報告書 もくじ

- P2 2010 年度の活動を振り返って
- P3 2010 年度実施事業一覧
- P4 活動報告(1) 日本語教室 CSN
- P6 活動報告(2) 地域の日本語教育
- P7 活動報告(3) 地域との交流
- P11 運営・広報・受賞の記録
- P10 資料

2010 年度 実施事業一覧

外国籍の青少年への居場所提供事業

日本語教室CSN

文部科学省・IOM委託「虹の架け橋事業」

日本語教育事業

日本語指導者の研修

自主事業

中級日本語講座

豊田市産業労政課外国人就労支援研修委託

Minha primeira aula KIRAKIRA

愛知県多文化初期指導教室開催業務委託

情報提供事業

生活や教育に関する情報提供・相談

自主事業

かえるプロジェクト2010 in 保見

三井物産主催

ぴかぴか親子サロン

とよた国際交流市民事業助成

外国人就労支援セミナー

豊田市産業労政課外国人就労支援研修委託

情報発信

日本語教室 CSN

文部科学省・IOM 委託「虹の架け橋事業」

日本の学校へ通っていない外国籍の子どもが日本語を学び、昼間安心していただける居場所をつくるために日本語教室を開いています。

外国籍の住民が多く暮らしている豊田市保見団地で、2003年から不就学の子どもの居場所づくりの日本語教室を開いています。2010年度は昨年より引き続き、**定住外国人の子どもの就学支援事業**（文部科学省・IOM）として行うことができました。保見団地だけでなく、豊田市南部やみよし市で暮らす多国籍の子どもたちを多く受け入れ、高校への進学者も過去最高の人数となりました。

- a. 平日毎日行う教室活動では、初期日本語指導をはじめ、子どもたちの進路希望に応じ高校進学のための教科指導、受験指導を行っています。

- b. 社会見学や地域イベント、農業など体験型の学習を通じて子どもたちの社会性を育む活動を積極的に行っています。



・リサイクルステーション見学（5月17日）viva toyota 参加（6月6日）・田植えとイモの苗つけ（6月7日）運動会（6月18日）大垣商業高校 IT リサーチ部とのスカイプ対談・かき氷試食（7月23日）畑の草刈り（7月26日）猿投農林高校オープンスクール、豊田高校見学と理科実験（8月6日）ご近所さんのお話を聞く会[茶木茶喜クラブ佐久間さん]（8月16日）流しそうめん（8月24日）豊田大谷高校オープンキャンパス（8月25日）小貫先生とナンシーさんのブラジルのお話（8月30日）稲刈り（10月4日）トヨタ会館と工場見学（10月5日）食育講座：飲み物の糖度計測（10月8日）わくわくコンサート in 猿投（10月21日）脱穀体験（10月22日）芋掘りと川原散策（10月25日）竹細工で空気鉄砲と焼き芋保見交流館ふれあい祭り（11月6日）（11月12日）クリスマス会（12月21日）豊田市民の誓いあったかフェスタ（1月23日）健康相談会（2月18日）とスポーツテスト（年3回）愛地球博記念公園地球市民交流センター交流プログラム「世界の食べ物を食べてみよう」（3月18日）先輩の話を聞く会[通訳ウイリアンさん]（3月23日）



- c. 子どもたちの進路について本人や保護者と共に考えるため、進学や教育制度に関する情報提供を行っています。今年度は2名が中学校卒業程度認定試験合格を経て、5名が母国や日本の中学校の卒業資格で県立高校（全日制）、定時制高校を受験し、進学を果たしました。

<活動実績>

■期間：2010年4月7日～2011年3月23日 10：00～15：30

月曜日～金曜日 計218回

■場所：UR都市再生機構保見ヶ丘第一、第二集会所

■学習者 7歳～18歳 外国籍の子ども 計40名

不就学 19名 (内ブラジル9名、フィリピン8名、中国2名)

公立中学校(不登校ぎみ) 6名 (内ブラジル6名)

公立小学校(不登校ぎみ) 2名 (ブラジル2名)

ブラジル人学校生 13名

(帰化や家庭の状況により日本国籍の学習者もいるが、出身につながる国別で分類)

[2010年度日本語教室CSN指導日数と子どもの在籍数]

月	指導 日数	新規 入室	退室 名	当月末 在籍者数	CSN退出後(または在籍中*)の新たな進路
	日	名	名	名	
4月	16	1	0	19	(18名は昨年度から引き続き在籍)
5月	18	1	0	20	
6月	18	8	1	27	ブラジル人学校継続1
7月	21	4	1	30	帰国
8月	17	2	0	32	
9月	20	2	0	34	
10月	20	0	2	32	就労1、不明1
11月	20	0	7	25	公立中学1、ブラジル人学校継続6、就労1
12月	16	2	0	27	
1月	17	1	3	25	ブラジル人学校編入1、継続2
2月	19	1	1	25	ブラジル人学校転入1、継続1
3月	16	0	15	10	公立小転入1、公立中転入1、全日制高入学2、定時制高5、ブラジル人学校継続2、帰国3、不就学2
計	218	22	30	参加者 40	県立高校入学全日制2、定時制5、公立中学校編入2、 小学校1、ブラジル人学校14、帰国4、就労2、 不就学2、不明1

*不就学から公立小中学校へ編入後も必要と思われる場合には在籍させて学校との連携と取りながらサポートを続けた

支出額 18,104,309 円

収入額 18,091,787 円

地域の日本語教育

外国籍の住民が日本語を学ぶ場を作り、地域での暮らしを応援するために、日本語教室などを行っています。大人を対象とした日本語教室やプレスクールを行いました。

日本語指導者の研修

トルシーダの日本語教室で指導に関わる指導者が指導力向上や学習内容の検討のため、自主勉強会を実施しました。また、指導者が研修会等に参加しスキルアップを目指しました。

<自習勉強会の実施>

■期間 2010年6月～2010年12月 火曜日 900～10:00 計20回

■場所 UR都市再生機構保見ヶ丘第二集会所

■参加者 日本語教室CSNの指導者 5名

<研修会への参加>

■多文化プレスクール研修会(8月18日、19日)

(主催:社会福祉法人せんねん村 中野郷保育園 財団法人こども未来財団)

■参加者 KIRAKIRAの指導者 2名

中級日本語講座

豊田市産業労政課外国人就労支援研修委託

外国籍の住民の就労に役立つよう日本語教室を開催しました。実際に仕事をする際に必要となるコミュニケーションや就職のための情報がわかるようになることを目指して、読み書きの学習も行いました。

<活動実績>

■期間:1ターム 2010年4月28日～2010年8月6日

2ターム 2010年8月23日～2011年2月9日

月、水、金 19:00～20:30 計80回

■場所:豊田市就労支援室、とよた市民活動センター

■参加者:57名 内 就労6名





次年度小学校に入学する外国籍の子どもの対象に、ひらがなの指導と学校生活に必要な日本語を教えるプレスクールを開催しました。指導者を新規雇用し、愛知県の初期指導教室実施マニュアルについて学ぶ準備期間を設け、指導者の育成にも力をいれました。



<活動実績>

- 期間：2009年11月～2010年3月 15:00～16:30
火曜日、水曜日、木曜日 計53回
- 場所：UR都市再生機構保見ヶ丘第一集会所
- 参加者：小学校入学を予定している6歳児 計21名

支出額 4,344,899 円
収入額 5,108,100 円

活動報告(3) **情報提供事業**

地域との交流

外国籍の住民が地域や日本社会の情報を得、地域のなかで地域の人とともに豊かに暮らしていけるよう交流活動や情報発信を行いました。

生活や教育に関する情報提供・相談

日本で暮らしている外国籍住民の生活の困りごとの相談窓口となり情報提供を行っています。日本での進学や進路についての情報提供を行い、必要な場合には通訳を用意したり専門機関につなぐなどの活動を通年行っています。今年度は義務教育年齢を超過、あるいは中学校2、3年生の年齢でフィリピンや中国から呼び寄せた子の進路についての相談が例年になく多くありました。国際結婚、保護者の再婚、国籍など日系ブラジルの子もたちとは違った背景を持つ相談がありました。

かえるプロジェクト 2010 in 保見

(主催：三井物産)

日本からブラジルに帰国した家族、子どもたちの現状を知り、帰国前にすべきことや帰国後のことをともに考えるセミナーの保見での実施に協力しました。ブラジルから来日した中川氏、澄田氏に直接相談する機会も設けられ、専門家に個別にアドバイスを受けられる貴重な機会となりました。

■KAERU PROJETO 2010 日本セミナー2011

10月29日 19:00~21:00 保見交流館

■個別相談会@保見

10月30日 9:30~12:00 西保見小学校

■前夜祭 ~行政、学校、NPOのネットワーク~

10月28日 18:00~20:00 とよた市民活動センター



ぴかぴか親子サロン

とよた国際交流市民事業助成

春には新一年生になる外国人園児とその保護者を対象に、交流会を実施しました。参加していたくために、工作や料理など楽しめる内容を盛りこみながら、入学にあたって必要なことを情報提供しました。

<活動実績>

■期間：2010年2月25日、3月11日、3月25日 15:00~17:00 全3回

■場所：UR都市再生機構保見ヶ丘第一集会所 保見交流館

■参加者：小学校入学を予定している6歳児と保護者 毎回9組

■内容：第一回 フォトスタンド作り、

【情報提供】入学に必要なもの

第二回 お弁当づくり

【情報提供】学校給食と栄養バランス

第三回 入学祝いの会（読み聞かせ）

【情報提供】二つの言語で育てるための家庭の役割について、防災のお話



情報発信

見学やボランティア体験を受け入れ、地域の様々な立場の方に外国籍の子どもたちの存在を知っていただいたり、交流を経験してもらおうと共に理解者を増やす機会としました。

<ボランティア体験の受け入れ>

- ・豊田社会福祉協議会ボランティア体験隊 2010（7月、8月）
- ・旭中学校（TIA）職場体験学習（8月6日）

<見学の受け入れ>

- ・歴史教育協議会現地見学（8月3日）
- ・三重県生活・文化部国際室 三重県多文化共生推進会議委員現地視察（11月4日）

<講義、活動報告>

- ・金城学院大学「定住外国人の子どもの教育とNPO」講義（6月18日）
- ・モリコロ基金 成果報告会参加（9月11日）
- ・東保見小学校「まちのニコニコマスターのお話を聞く会」活動報告（9月15日）
- ・とよた子どもの権利相談室報告会 シンポジウムパネリスト（9月23日）
- ・犬山しみんてい10周年記念「市民活動交流フォーラム」パネリスト（11月4日）
- ・愛知県地域振興部国際課多文化共生推進室
「平成22年度多文化共生ネットワーク会議」活動報告（2月22日）
- ・高校生活指導全国協議会 東海ブロックゼミナール 活動報告（3月13日）



情報発信!!

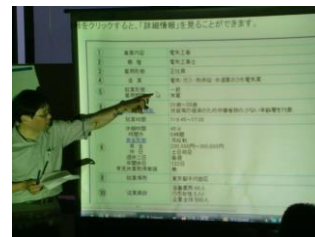
<会議への参加・調査協力>

- ・豊田市多文化共生推進協議会
- ・愛地球博記念公園マネジメント会議
- ・豊田市生涯学習審議委員会
- ・豊田市教育委員会不就学調査
- ・豊田市次世代育成課 人権教育推進のための調査研究事業

外国人就労支援セミナー

豊田市産業労政課外国人就労支援研修委託

求職中の外国籍住民が、就労に必要な知識と技術を実践的に身につけることを目的としてセミナーを開催しました。今年度は開催日を中級日本語講座開催時間に設定し、日本語講座の受講者がセミナーを受講しやすくすることで参加者が増えました



<活動実績>

- 期間： 2010年5月14日～7月20日 19:00～20:30 就労支援セミナー全10回
10月31日～11月28日 毎週日曜日 14:00～17:00 日本語能力試験対策講座全5回
- 場所： 豊田市就労支援室、とよた市民活動センターほか
- 参加者： 前半5回 計94名、後半5回計54名（のべ人数）
（ブラジル、ペルー、ベトナム、ボリビア、インドネシア、中国）

日 程	タイトル	内 容	講 師
5月14日(金)	仕事の探し方1	仕事を探すためにインターネットの求人サイトや日本語の求人誌をうまく活用。就職活動の事例をやさしく解説。	講師:ポルトガル語求人紙「チャンス」発行 原田篤実さん
5月21日(金)	仕事の探し方2		
5月28日(金)	仕事の探し方3		
6月4日(金)	仕事の探し方4		
6月14日(月)	履歴書の書き方1	履歴書を実際書きあげるところまで指導	講師:NPO法人トルシーダ
6月16日(水)	履歴書の書き方2		
6月18日(金)	履歴書の書き方3		
7月5日(月)	面接の受け方1	就職をするために重要な面接の内容を整理し、上手な受け応えができるよう要点をおさえて実践的に指導。	講師:NPO法人トルシーダ
7月7日(水)	面接の受け方2		
7月20日(火)	仕事探し	ハローワークで実際に仕事探し。講師NPO法人トルシーダ	
10月31日~11月28日	日本語能力検定試験対策講座	N1~N3受験のための試験直前対策講座	講師NPO法人トルシーダ



支出額 755,073 円

収入額 1,026,432 円

運営の報告

理事会 第一回 平成 22 年 5 月 16 日 10 時～12 時 とよた市民活動センターにて
平成 21 年度事業報告（案）平成 21 年度収支決算（案）
平成 22 年度事業計画（案）平成 22 年度収支予算（案）について
総会 第一回 平成 22 年 6 月 12 日（10 時～12 時）保見交流館中会議室にて
平成 21 年度事業報告、平成 21 年度収支決算報告と承認
平成 22 年度事業計画、平成 22 年度収支予算および今年度の事業実施について

広報の記録

中日新聞 学生之新聞「大学への理解深める 外国人向けオープンキャンパス」(7/27 朝刊)
<http://edu.chunichi.co.jp/gakusei/?p=1384>
つなぐ 登録団体紹介No4 子ども達の未来にかける“虹の架け橋”！（とよた市民活動センター第 70 号1/1）
毎日新聞 あいち「高校目指す外国人応援 10 人が猛勉強、合格者も」（2/11 朝刊）
alternative NISHI edição75 「No time dos estrangeiros」
豊田市市政番組とよた NOW 特集「びかびか親子サロン」(3/21)
http://www.city.toyota.aichi.jp/toyotanow/asx/tokusyu_1M_110321.asx
あいち多文化共生ネット 多文化リポート 現場を行く【NPO法人トルシーダ】 curso sol nascente(日出教室)～NPO法人トルシーダ <http://www.pref.aichi.jp/kokusai/report/torcida.htm>（愛知県地域振興部国際課多文化共生推進室）
週刊東洋経済 2011 年 2 月 12 日号 「どうなった日系ブラジル人問題 生活再建はまだ道半ば」

☆「地下鉄広告で地域NGOをPRする研修」に参加。名古屋市地下鉄鶴舞線の車両にNGOの広告を2ヶ月間出し、そこからリンクした専用ホームページで団体をPRしました。
<http://nangoc.org/chikatetsu/top/>

受賞等の記録

豊田市制 60 周年記念表彰 安全・安心のまちづくりの団体として表彰されました。
http://www.city.toyota.aichi.jp/division/a100/a104/1224321_15852.html
文部科学省 教育関係の「全国優良 NPO 法人」として選定されました。

●●●リレートーク 25●●●

特定非営利活動法人トルシーダ 伊東 浄江さん

みなさん、こんにちは！トルシーダです。日本に住む外国人の子どもたちに日本語を教え、困っていることや、悩んでいることを一緒に考えられる関係を作りたいと、仲間が集まってできた団体です。活動を始めたのは、1995年。2003年に法人化しました。主な活動は、子どもを対象とした日本語教室ですが、昨年度から豊田市産業労働課の委託で、就労のための日本語教室とセミナーも実施しています。「外国人の問題=言葉や文化の壁」と捉えられがちですが、日本語教室には「変なサイから高額の請求が来たんだけど…」とか、「子どもをこども園に入れたいんだけど…」など、様々な問題が持ち込まれます。私たちでは対応できないことも多いのですが、そんなとき頼りになるのはネットワークです。これからも活動を通じた関係づくりの中で、外国籍の子どもたちの社会を広げていければと思っています。興味のある方ご連絡ください。(090-6462-3867 トルシーダ携帯)

★次回は、ひきこもり支援ボランティア 「そらの会」 加藤哲也さんです



豊田市市政番組とよた NOW 特集

「ぴかぴか親子サロン」(3/21)



平成 23 年 2 月 11 日、毎日新聞

【ブラジル人向けのフリーペーパーに日本語教室 CSN の活動と子どもたちの様子が載りました】

comunidadeeducação



Alunos do curso preparatório para o Japão

No time dos estrangeiros

NPO japonesa de nome brasileiro, Torcida, atua na educação de crianças e jovens que estão fora da escola (texto: Redação)

Guilherme Kendje Hirano, 17 anos, de Toyota (Aichi), sentiu os duros efeitos da crise financeira mundial de 2008/2009, antes mesmo de terminar os estudos. Como muitos outros adolescen-

tes e crianças brasileiros foi surpreendido com a notícia de que não iria mais frequentar a escola. Guilherme era aluno de instituição de ensino particular brasileira e a família dele teve mais condições de pa-

24 | 20 de janeiro de 2011 | www.alternativa.co.jp

comunidadeeducação



Guilherme, Gabriel e Alon são alunos da NPO Torcida



"Aqui eu aprendo a falar bem em japonês e, agora, estou conseguindo conversar com os japoneses."
Erik Yudi da Silva Nakata, 10 anos



"A NPO me ajudou muito na escolha do melhor caminho que devo tomar para ingressar no kookoo. Eles me ajudam muito nas dificuldades escolares e no processo de adaptação."
Douglas Albert Araujo Sonoda, 17 anos

moradores do Homi Danchi – mas a NPO atende também chineses e filipinos e já atendeu outras nacionalidades, entre elas tailandeses e peruanos.

As crianças e adolescentes de seis a 15 anos que estão fora da escola podem frequentar a NPO Torcida em período integral. "O adolescente fica no projeto até ter disponibilidade para entrar no kookoo. Nesse caso, a idade máxima é livre", explica Davis. Muitos ex-alunos tornam-se voluntários do NPO que, atualmente, conta com dez funcionários e mais cerca de 15 voluntários esporádicos.

Yumi Yuhara, 40, é uma das professoras de japonês, que não esconde o seu carinho pelos

24 | 20 de janeiro de 2011 | www.alternativa.co.jp

O MELHOR CONTEÚDO

NISHI

www.alternativa.co.jp

ANGELA PICOLI
REALIZA SONHO DE
CONHECER O JAPÃO

NPO
TORCIDA
ALUNA JOVEM
QUE ESTÁ FORA
DA ESCOLA

"Quero ser âncora de um grande telejornal"

Começa a história de Vitor Morsetti, um jovem de 15 anos que criou a TV Toyota

2011

comunidadeeducação



mensalidade. "Eu ficava em casa, sem nada para fazer, não enxergava um bom horizonte", lembra. O adolescente voltou a sonhar com um futuro promissor graças ao trabalho da organização sem fins lucrativos (NPO, na sigla em inglês) Torcida, sediada também em Toyota.

Fruzo da ação de um grupo de professoras japonesas – até então voluntárias do curso de língua japonesa para estrangeiros da Associação Internacional de Toyota –, a Torcida foi fundada em 2003. Mais do que ensinar o idioma local, a organização oferece reforço escolar aos alunos que buscam uma vaga no kookoo, equivalente ao Ensino Médio no Brasil. "O projeto ajudou a abrir as portas das universidades japonesas aos estrangeiros atendidos pelo programa. Proporcionamos, em muitos casos, uma chance na vida de pessoas em ampliar os seus horizontes", comemora o brasileiro Davis Azevedo Ribeiro Silva, 42, que trabalha na Torcida.

Sediada no famoso Homi Danchi, conjunto habitacional com enorme concentração de brasileiros, a NPO não tem nome em português por acaso. A escolha vem do ideal dos fundadores de ajudar e torcer pelo sucesso dos estrangeiros que ajudam no desenvolvimento do país. E como os brasileiros representam o maior grupo desde o início do projeto, a palavra "torcida" foi uma maneira de homenagear a comunidade verde-amarela.

Seis anos depois, a NPO Torcida é uma das principais e mais atuantes no apoio educacional aos estrangeiros no Japão. Os brasileiros continuam sendo o maior grupo – e quase todos

Guilherme e um dos brasileiros atendidos pelo grupo da Torcida



A professora Yumi Yuhara com o grupo em aulas de japonês

www.alternativa.co.jp | 20 de janeiro de 2011 | 25

comunidadeeducação

estrangeiros. "Eu busco ampliar não só o meu pensamento, mas dos japoneses em geral, em relação aos estrangeiros. É interessante derrubar as barreiras culturais e pegar o que cada povo tem de melhor", diz.

Yumi também se preocupa com as famílias dos alunos e procura ajudar. "Falta estabilidade, moradia fixa, emprego fixo, de certa forma o futuro fica comprometido, é preciso ter uma meta e buscar através dela o caminho", analisa.

Ajuda do governo
Para manter a Torcida em atividade, a diretora é uma das idealizadoras da organização, Kiyoe Ito, 48, já teve de pagar as despesas básicas com dinheiro do próprio bolso. Mas, atualmente, a NPO conta com o apoio do governo japonês, que arca com grande parte dos gastos como aluguel, luz, água, salários dos funcionários etc.

Grças à essa ajuda, a Torcida atende 60 crianças e adolescentes. Com esse trabalho, os brasileiros e demais estrangeiros vão conquistando respeito e espaço na sociedade japonesa.

NPO Torcida
Aulas de japonês e reforço escolar
Horário de funcionamento: segunda a sexta-feira, das 9h às 16h.
Endereço: Aichi-ken, Toyota-shi, Homi Danchi, Salas de Reunião 1 e 2 dos prédios 141 e 142 do Kodan Jubaku.
Informações: 090-3293-3395 (português) ou 090-6462-3867 (japonês)



Davis, o "tiozão" da garotada
Davis Azevedo Ribeiro Silva, 42 anos, é paulistano e ex-jogador de futebol profissional. No Brasil, atuou em times da capital paulista e também do interior do estado. Mudou-se para o Japão com a esposa nikkei, aos 23 anos, em virtude de um contrato com o time da Yamaha, atual Jubilo Iwata. Naquela época, ano de 1991, o futebol japonês estava apenas engatinhando e Davis acabou trocando os gramados pelas fábricas.

No entanto, o brasileiro não abriu mão de seu esporte preferido. Dois anos mais tarde começou a trabalhar em escolinhas de futebol. Foi ao Brasil para fazer um curso de treinador profissional reconhecido pela Federação Paulista de Futebol e, de volta ao Japão, formou uma escola de futebol no Homi Danchi, para onde se mudou.

Com o futebol, aproximou-se da Associação Internacional de Toyota e, desta forma, acabou se envolvendo também com a NPO Torcida. Perdeu o emprego na fábrica por causa da crise, mas graças a sua desenvoltura com jovens e domínio do inglês e do japonês ganhou a oportunidade de trabalhar com os jovens estrangeiros. Há pouco mais de um ano, Davis é funcionário da Torcida.

www.alternativa.co.jp

会員の皆様へ

地域の外国籍住民を応援する
活動を支えていただき
ありがとうございます。

2010 年度寄付を頂戴した団体・企業・個人の皆さま

三井物産株式会社

有限会社カイカワ

N P O伊賀の伝丸

神戸三田外国人サポート

豊田市地域支援課

小松史朗 大谷かがり

森敬子 伊東浄江 高山静美 松田章子

(敬称略 順不同)

.....
会員になって活動を応援してください！

賛助会員 年会費 1口 1000円

郵便振替口座：008906129519

加入者名：特定非営利活動法人トルシーダ

入会のご希望は↓

.....
特定非営利活動法人トルシーダ

活動場所：愛知県豊田市保見ヶ丘 5-1-1 UR 都市機構保見ヶ丘第一、第二集会所

団体 TEL 090-6462-3867

メール torcidajpp@yahoo.co.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/torcidajpp/>